

問1 親と似た姿で生まれる動物の受精卵が、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さいのはなぜですか。

1. たまごのからを作る必要がないから。
2. 生まれるまでに長い時間がかかるから。
3. 親の体の中でたくさんの空気をすうから。
4. 成長に必要な養分をためこんでいないから。

問2 ヒトやウマ、ネコなどのように、生まれたときから親とよく似た形や特徴をもっている動物のことを何といいますか。

1. 卵から生まれる動物
2. 親と似た姿で生まれる動物
3. 親とちがう姿で生まれる動物
4. 水の中で育つ動物

問3 母親の子宮（しきゅう）の中で育っている子どものことを何といいますか。

1. 胎児（たいじ）
2. 赤ちゃん
3. たまご
4. よう虫

問4 子宮の中にある羊水には、胎児にとってどのような大切なはたらきがありますか。

1. 胎児の体を温めるために熱をつくり出すはたらき
2. 胎児に直接栄養や酸素を届けるはたらき
3. 外からの衝撃から胎児を守るはたらき
4. 胎児の骨や筋肉を直接つくり出すはたらき

問5 卵を産む動物の卵の中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

1. 自分で光合成をして養分をつくらせて育つ
2. 親の体から送られる養分を使って育つ
3. まわりの水や空気から養分をすいて育つ
4. 卵の中に含まれる養分を使って育つ

問6 おなかの中の赤ちゃん（胎児）は、へそのおを使ってどのようなことをしていますか。

1. おなかの中を自由に泳ぎ回るための、ロープとして使う。
2. 母親から直接空気を吸いこんで、呼吸（こきゅう）をする。
3. 母親から養分をもらったり、いらなくなったものを母親に返したりする。
4. おなかの中の温度を、一定に保つために使う。

問7 女性の体内でつくられた卵（卵子）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを何といいますか。

1. 受精
2. 呼吸
3. 発芽
4. 消化

問8 次のうち、たまごのすがたでうまれてくる動物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. ヒトとイヌ
2. メダカとニワトリ
3. ネコとウシ
4. サルとウサギ

問9 ヒトの卵（らん）の直径（ちよっけい）は、およそどれくらいの大きさですか。

1. 約1.4mm
2. 約0.014mm
3. 約14mm
4. 約0.14mm

問10 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

1. 水
2. ちち
3. 草
4. 肉

問11 子宮という場所で受精卵を育てる動物には、どのような特徴がありますか。

1. 親と似た姿で生まれてくる。
2. 卵からかえってから育つ。
3. 親とはまったくちがう姿で生まれてくる。
4. 水の中で卵を産んで育てる。

問12 ヒトの子どもは、受精してから誕生するまでに、母親の体の中で約何週間育ちますか。

1. 約10週間
2. 約24週間
3. 約38週間
4. 約52週間

問13 ヒトの子どもが生まれるときの、一般的な体重と身長（いっばんてき）の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. 体重約1kg、身長約30cm
2. 体重約8kg、身長約90cm
3. 体重約5kg、身長約70cm
4. 体重約3kg、身長約50cm

問14 親と似た姿で生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵の大きさにはどのようなちがいがありますか。

1. 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。
2. たまごで生まれる動物のほうが小さい。
3. どちらの動物も同じ大きさである。
4. 親の体の大きさが大きい動物のほうが小さい。